

受験 番号	
----------	--

2016年度 入学試験 社会問題

注意 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

1 次の文章と地図を見て、問いに答えなさい。

東京の日本橋は、再開発が進み、大通りに面して大きなビルが建ち並んでいます。この辺りの地名にもなっている日本橋という橋は、江戸時代に徳川家康によって造られました。現在の橋は明治44（1911）年に架けられ、親柱の「日本橋」の文字は江戸幕府最後の将軍（ 1 ）の筆跡です（右写真）。

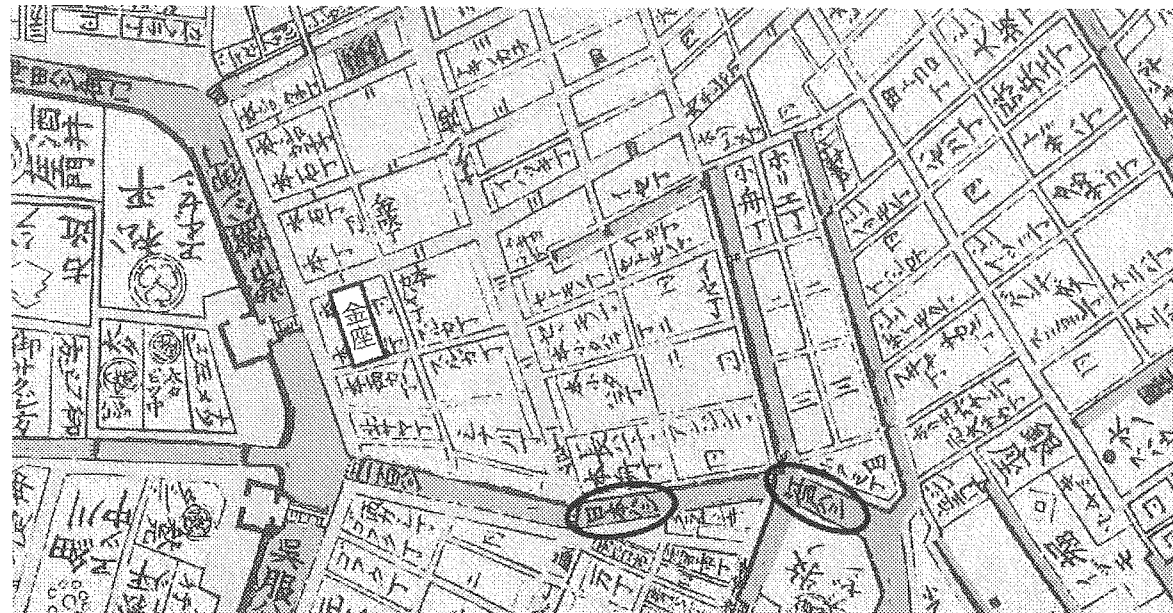
橋の中央には日本国道路元標が埋め込まれています。ここはいくつかの国道の起点で、江戸時代に日本橋が①五街道の起点であったことからこの場所が選ばれました。現在、橋の上には、首都高速道路が通っていますが、これは西暦（ 2 ）年の東京オリンピック開催にあわせて造られたもので、準備期間が短かったため、新たに土地を取得する必要のない川の上が利用されました。高速道路を移転させ、日本橋に空を取り戻そうという声もあります。

家康が江戸の町づくりを始めた頃、江戸城のすぐそばまで海が迫っていました。幕府は海と低湿地の埋め立てに力を入れました。台地は水が不足するので住みにくく、水を得やすい低地に多くの人々が住みました。やがて、日本海側の米の産地や大阪から、多くの物資が船を使って江戸へ輸送されるようになりました。それらは江戸の沖合で大型船から小舟に積み替えられ、現在、自動車が道路を走るように、舟で水路を使って江戸の町に運ばれました。②低地にはたくさんの水路が掘られ、水路や海と一体となった都市が造り上げられました。日本橋の下を流れている川を日本橋川といい、その両側には貯蔵用の蔵が並んでいました。日本橋周辺のこの光景は、3 ページの間6の写真のように明治時代になってもあまり変わらなかったようです。日本橋の北のたもとには魚市場発祥の地の石碑があります。江戸時代、日本橋から下流の江戸橋にかけて川の北岸には魚市場のある魚河岸ができました。周辺では米や塩、材木なども荷揚げされ、大店が並んで賑わっていました。魚河岸は、大正12(1923)年の関東大震災による全焼をきっかけに（ 3 ）に移り、その（ 3 ）市場は、今また（ 4 ）に移転することが決まっています。水路は戦後まで使われていましたが、高度経済成長後、自動車が増え、多くは埋め立てられて水辺の様子は大きく変化しました。

現在、日本橋には鯉節やお茶、海苔、果物、和紙を扱うお店や③百貨店などがあります。その中には、江戸時代にこの近辺で創業したものもあります。また④奈良県、島根県、三重県、新潟県、福島県のアンテナショップもあり、その県の特産物や観光情報を得ることができます。日本橋周辺を歩いてみると、銀行が多いことに気がつきます。江戸時代には現在の銀行に当たる両替商が軒を連ねていました。それは、この場所が江戸時代から長い間□□の中心地であったためです。今また、かつての賑わいを取り戻すために、橋を中心とした新たな取り組みが行われています。



地図1



地図2



地図3



地図1は「安政六年 江戸図」、地図2は「東京市十五区番地界入地図 明治四十年調査」、地図3は国土地理院1万分の1地形図「日本橋」より作成(印刷したものは、実際の縮尺とは異なります。)



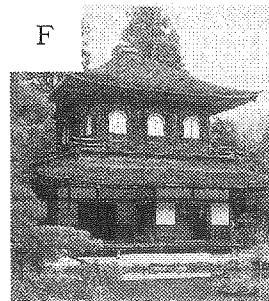
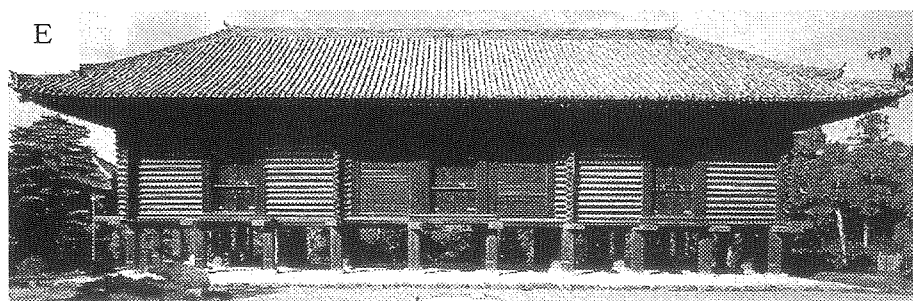
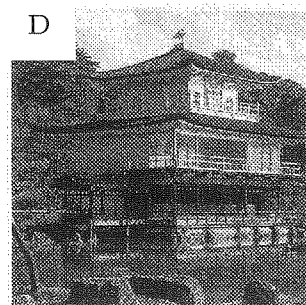
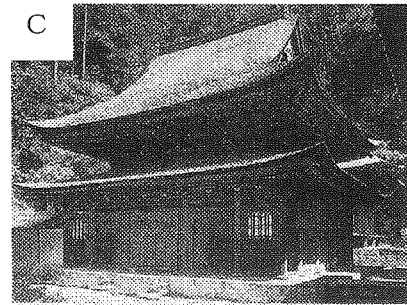
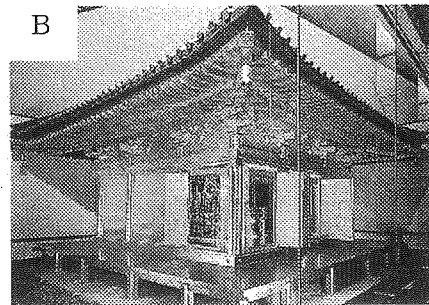
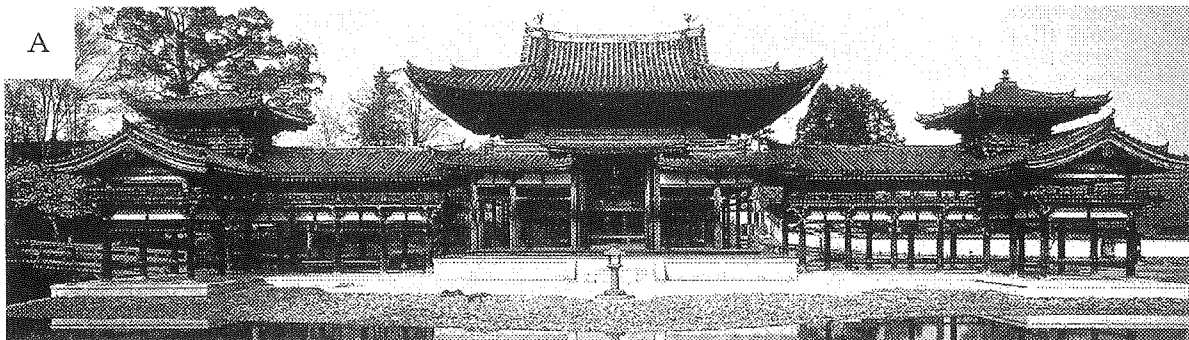
2 次の文章A～Dを読み、問いに答えなさい。

A 香蘭女学校では、中等科の修学旅行で平泉の①中尊寺金色堂、高等科の修学旅行で②平等院鳳凰堂を訪れます。この2つのお堂の共通点は、( 1 ) 堂であることです。( 1 ) 堂とは、極楽浄土をこの世に再現したもので、浄土教の信仰に基づいてつくられました。浄土教は、③平安時代に( 2 ) が京都で広め、源信も『往生要集』を著して貴族たちに広めていきました。その教えは、院政期になると、九州から④東北まで広がっていき、その結果、東北の平泉では奥州藤原氏が、中尊寺金色堂をはじめ、次々と( 1 ) 堂を建立しました。

問1. 文中の( 1 )・( 2 )に当てはまる言葉を答えなさい。

問2. 下線部①と②の写真の組み合わせとして正しいものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ①-C ②-F    イ. ①-F ②-E    ウ. ①-D ②-C    エ. ①-B ②-A  
オ. ①-B ②-E    カ. ①-D ②-A    キ. ①-F ②-D    ク. ①-E ②-C



問3. 下線部③について、平安時代の出来事として正しいものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 平清盛が日明貿易を始めました。  
イ. 藤原道長が院政を行いました。  
ウ. 菅原道真が遣唐使を廃止しました。  
エ. 白河上皇が承久の乱を起こしました。

問4. 下線部④について、平安時代のはじめに征夷大將軍となって東北の蝦夷を平定した人物の名前を答えなさい。

B さつまいも、じゃがいも、かぼちゃなどは、アメリカ大陸の原産で、1492年( 3 )の新大陸到達以後にヨーロッパからアジアにわたりました。これらは17世紀のはじめ頃にわが国に伝えられ、この400年ほどの間に日本中に広がったものです。伝えられた外国の地名が残っていて、じゃがいもはジャカルタ、かぼちゃはカンボジアを経由して日本に来たことがわかります。さつまいもの場合には最初、沖縄から伝えられたため、当時の沖縄の呼び方がそのまま付けられて「( 4 ) 芋」と呼ばれていました。その後、18世紀の中頃、⑤幕府の命令を受けて、飢饉対策のために、甘藷先生と呼ばれた( 5 )が、各地に広めました。現在多くの地域でさつまいもと呼ばれているのは、九州から江戸に伝わったためです。

問5. 文中の( 3 )～( 5 )に当てはまる言葉を答えなさい。

問6. 下線部⑤について、このとき幕府では、徳川吉宗が改革を行っています。その改革は何と呼ばれていますか。

C 明治時代の1872年、新橋と⑥横浜の間に初めて鉄道が敷設されました。その後、1889年には東海道線が全通、1891年には上野―青森間で日本鉄道が開通しました。⑦江戸時代は、日本海側と大阪や江戸を結ぶ経済ルートが発達したのに対し、明治時代以降、太平洋側を中心に東京から交通網が発達していきました。戦後、オリンピック開催に合わせ、東海道新幹線が開業したり、首都高速道路が開通したりしました。1950年代半ばから1973年の( 6 )までの時期を高度経済成長期と呼んでいます。

問7. 文中の( 6 )に当てはまる言葉を答えなさい。

問8. 下線部⑥について、なぜこの都市が選ばれたのか、その理由を答えなさい。

問9. 下線部⑦について、誤っているものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 日本海側から大阪に荷物を運ぶために北前船が運行しました。  
イ. 日本海側の酒田は米の出荷地として栄えていました。  
ウ. 対馬藩はアイヌとの交易の中心となりました。  
エ. 東廻り航路は、日本海側の荷物を江戸に運ぶルートでした。

D ♪♪でんでん虫々 かたつむり、  
お前のあたまは どこにある。  
角だせつの槍だせかり あたまだせ。

この歌は、音楽の教科書にものせられ、全国の子供たちに歌われてきました。

ところでデンデンムシとかカタツムリと呼ばれている生き物には、地域によってさまざまな呼び方がありました。これらの名称は、限られた水路や陸路を伝って全国に広まったものです(図1)。

もし、日本列島が平らな陸地であったら、京都を中心にして、いくつかの同心円をえがいて分布したものと考えられます(図2)。

この生き物について残されている歴史上の記録は、ほとんどありません。わずかに、平安時代の京都に住んでいた人の書物に「加太豆布利」という記事があり、また、江戸時代に書かれた本のなかで、京都の子供たちがこの生き物のことを「出出蟲蟲」と呼んでいた、という記事があるにすぎません。

問10. 残された「歴史上の記録」から、この生き物の呼び名として、より古いと思われるものはどちらですか。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. デンデンムシ    イ. カタツムリ

問11. 図1と図2から、この生き物の呼び名はどのように変化してきたものと考えられますか。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。また、そのように考えた理由を書きなさい。

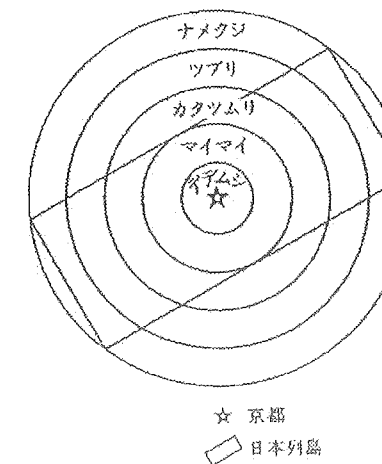
ア. デンデンムシ → マイマイ → カタツムリ → ツブリ → ナメクジ  
イ. ナメクジ → ツブリ → カタツムリ → マイマイ → デンデンムシ

図1



(徳川宗賢編『日本の方言地図』中公新書より)

図2



(柳田国男著『蝸牛考』岩波文庫「解説」より)

3 次の文章を読み、問いに答えなさい。

みなさんは日本国民のうちのひとりです。国民のひとりひとりが、かしこくなり、強くならなければ、国民ぜんたいがかしこく、また、強くなれません。国の力のもと、ひとりひとりの国民にあります。そこで国は、この国民のひとりひとりの力をはっきりとみとめて、しっかりと守ってゆくのです。そのために、国民のひとりひとりに、いろいろ大事な権利があることを、憲法できめているのです。この国民の大事な権利のことを「( 1 )」というのです。これも憲法の中に書いてあるのです。

(中略)

この前文というものは、二つのはたらきをします。その一つは、みなさんが憲法をよんで、その意味を知ろうとするときに、手びきになることです。つまりこんどの憲法は、この前文に記されたような考えからできたものですから、前文にある考えと、ちがったふうに考えてはならないということです。もう一つのはたらきは、これからさき、この憲法をかえるときに、この前文に記された考え方と、ちがうようなかえかたをしてはならないということです。

それなら、この前文の考えというのはなんでしょう。いちばん大事な考えが三つあります。それは、「民主主義」と「国際平和主義」と「主権在民主義」です。「主義」という言葉をつかうと、なんだかむずかしく聞こえますけれども、少しもむずかしく考えることはありません。主義というのは、正しいと思う、もののやりかたのことです。それでみなさんは、この三つのことを知らなければなりません。

(高見勝利編『あたらしい憲法のはなし 他二篇』岩波現代文庫より)

問1. 文中の( 1 )に当てはまる言葉を答えなさい。

問2. 民主主義がほかの政治のあり方に比べて優れている点を、60字程度で説明しなさい。

問3. 国際平和主義は、日本国憲法の条文ではどのように書かれていますか。

問4. 日本国憲法で定められている地方自治において、住民の直接請求権に当てはまらないものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 条例の制定    イ. 地方議会の解散    ウ. 地方公共団体の首長の解職    エ. 住民投票

問題は以上で終わりです

得点

2016年度 社会 解答用紙

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1	問1	(1)	(2)	(3)
	問1	(4)	問2	問3
	問4		問5	
	問6		問7	
	問8	(1)	(2)	(3)
2	問1	(1)	(2)	
	問2		問3	問4
	問5	(3)	(4)	(5)
	問6		問7	
	問8			
	問9		問10	問11 記号
問11	理由			

3	問1													20
	問2													40
														60
														80
問3											問4			